



TSUBASA (No.55)

つばさ55号

山梨県教育委員会

ふるさと
“やまなし”に
生きる子供たちの

豊かな心の
育成のために

豊かな心の育成のために

山梨県教育委員会教育長 降旗 友宏

現代社会は先行きが不透明で、将来の予測が困難な時代とされていますが、このような時代を生きる子供たちが豊かな人生を送るためには、他者と協働し主体的に学ぶことを通して、子供たち一人一人がウェルビーイングを自分自身で得られる環境を整えることが重要です。

本県の子供たちは、本県の特色である学校や地域とのつながりを大切にしながら利他性や自己有用感を育み、自分のよさや可能性を認識しながら着実に成長しています。

県では令和6年3月に新たに教育振興基本計画を策定しました。本計画では、基本目標の一つに「未来を生きる子供に必要な力を育む教育の推進」を掲げ、しなやかな心の育成プロジェクトや道德教育の推進など、子供たちの豊かな心の育成に向けた施策を進めています。

昨年度、本誌では「つながる」をテーマに、道德教育研究推進校等による「道德科」の実践例や地域との連携を通して行う道德教育の取組が紹介され、県内の子供たちの豊かな心の育成につながってきました。今年度は、学校や地域とのつながりを基に進められてきた道德教育を更に「深める」ことを目的として、道德教育を深めるための実践例を数多く紹介しています。

本誌をきっかけとして、学校・家庭・地域が更に連携を図り、道德教育の学びを「深める」ことにより、子供たちの豊かな心の育成とふるさと「やまなし」を愛する力につながることを期待しています。

しなやかな心の育成プロジェクト

山梨県では、児童生徒の健全な成長に関わる問題の解決に向け、自己肯定感を基盤とした＜自他を敬愛する心＞、困難や挫折に直面しても＜諦めない心＞など、子供たちの豊かな人間性を育むために、道德教育の学びを深め、地域全体で子供たちを育てていく環境づくりを進める取組を行っています。

「家庭(ファミリー)」

家読(うちどく)推進運動
～家庭での家族間の読書活動～

＜生涯学習課事業＞



家族で心も体も
ウォームアップ運動

＜保健体育課事業＞



ファミ・コミ・スクール コミュニケーション

「家族」「地域」「学校」のつながりを深め、
活発なコミュニケーションをとることを推進

「しなやかな心の育成」ワークショップ

＜保健体育課事業＞

道德教育推進会議

＜義務教育課事業＞

「学校(スクール)」

やまなし道德教育推進事業

＜義務教育課事業＞



「地域(コミュニティ)」

気配り思いやり

マナーアップ運動

＜高校教育課事業＞

道徳教育を「深める」ために

道徳科の目標である「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う」ためには、カリキュラム・マネジメントの視点から道徳教育の諸計画を作成し、道徳教育の要となる道徳科の授業改善・充実を全教職員の共通理解の下で行い、道徳教育を深めることが大切です。

道徳教育

担任・学年・委員会・部活動etc.
様々な視点から全教職員で



学校長のリーダーシップ

諸計画の作成

- ・道徳教育で育成を目指す児童生徒像
- ・重点とする内容項目
- ・児童生徒の実態・課題の把握
- ・評価の視点

諸計画の
作成について



諸計画の活用にあたって

- ・職員会議、学年会議等で計画の進捗状況の確認、振り返り、見直しをこまめに行う。
- ・作成することが目的とならないように様々な視点から児童生徒を具体的な姿で把握して取組を行う。

カリキュラム・マネジメント

補充・深化・統合

考え、議論する道徳

○考え、議論する道徳を実現するための「見方・考え方」

「様々な事象を道徳的価値の理解を基に、自己との関わりで（広い視野から）多面的・多角的に捉え、自己の（人間としての）生き方について考えること」＊（ ）は中学校

これを念頭に、明確な指導意図をもった授業づくりが大切です。

つばさ51号

「主体的・対話的で深い学び」



つばさ52号

「授業のつくり方」



スキルアップ研修資料

「考え、議論する道徳」の授業づくり



「特別の教科 道徳」

「学級経営」で道徳教育を深める！



教師は、児童生徒一人一人の人間的な成長を見守り、**児童生徒が自己のよりよい生き方を求めていく努力を評価し、それを勇気づける存在。**
教師と児童生徒の**日常生活での温かい人格的な触れ合い**が大切です。

地域とつながり、伝統・文化をつなぐ西桂中学生

9月19日に八十八歳の船がけを、クラス代表者が西桂町教育委員会の社会教育係の方に指導しました。1学期から家庭科の授業を中心に作成した船がけですが、幸運により、西桂小学校の6年生が八十八歳の船がけにすることができました。西桂の伝統・文化を小・中学生がつなぐ活動は素晴らしいことだと思います。思い返せば、お年寄りと一緒に作業をした記憶が鮮明に覚えている方もいらっしゃるのではないでしょうか。右下の写真が、お年寄りで作った船がけを贈る船がけの瞬間です。必死で頑張った船がけは、とても感動的です！！



赤ちゃん人形抱っこ体験！ ～「いのちの授業」で学んだこと～

10月13日（金）の5・6校時に、北杜市の保健師さんである〇〇先生をお招きして、「いのちの授業」が開催されました。多くの保護者の方にもご参加いただき、会の大切さや、これからの自分の生き方について学びました。私はこの授業の中で、「一人ひとりが30億の命の海に生まれた奇跡の存在なんです」という言葉が印象に残っています。また、奇跡が積み重なって今の自分があるからこそ、今という時間をもっと大切にしたいなと感じました。みんなも身の回りにいるひとりのことを大切にするとともに、これから大人になるために、5つの「自立」を意識して毎日の生活をおくっていきましょう！

みんなの感想より
〇〇先生を見て母がとても嬉しい思いをして私を生んでくれたことが分かったので、感謝したい。
〇赤ちゃんを抱っこ体験では、首をしっかり支えることを意識した。赤ちゃんは想像以上に重かった。自分にもこんな重さがあったんだと驚くような不思議な気持ちになった。
〇親が責任をもって自分を育ててくれたから、自分はちゃんと自立した大人になりたい。
〇3人の子供がなかのなかで考えたことで大変な思いをしたら、産まれた時の感動やうれしさを自分も体験したいなと感じた。

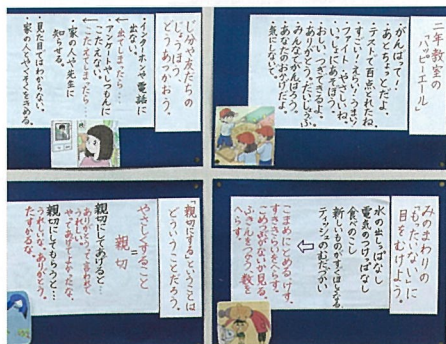
道徳「やさしくすること、わかままについて考えました」

「週に1回の道徳の授業では、学級目標の「こころ ぽかぽか」にも繋がる学習をしていきます。子どもたちは、普段の学校生活や家庭での生活を思い出したり、教科書のお話を読みながら、「どんな気持ちが必要かな」「どんなことに気をつけていきたいかな」ということを考えています。」
先生は、「はしの上のオオカミ」という話を読み、「誰にでもやさしくすること」と

児童生徒との**温かい人格的な触れ合い**が伝わる内容

学級通信で

- ・授業を振り返る
 - ・意見を共有する
 - ・子供を認める
 - ・家庭に周知する
 - ・担任の思いを伝える
- **道徳性を深める**



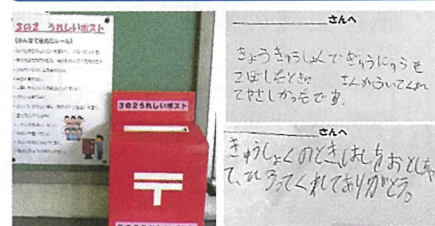
道徳教育の振り返りの充実、
学びの蓄積を図る掲示物



**傾聴できる空間づくり
児童生徒に寄り添う姿勢**



**友達のよさを見つける活動
友達との関わりを深める活動**



**自己有用感を高め合う活動
児童生徒同士で認め合う活動**

「組織力」で道徳教育を深める！



別葉の見える化で深める

- ・付け足し、修正が簡単
- ・意味のある別葉の作成



地域との連携で深める

- ・地域とのつながり
- ・体験的な活動



児童会、生徒会活動で深める

- ・児童生徒主体の道徳教育
- ・全校での活動



校内研究の充実で深める

- ・全教師が参加
- ・教師一人一人が自分事



保護者・地域と深める

- ・保護者と学びを深める
- ・地域人材の活用



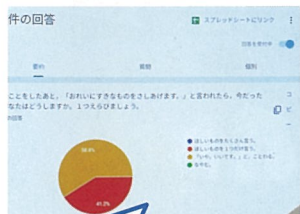
環境を整えて深める

- ・発言が受容される空間
- ・学習環境の整備

「授業の工夫」で学びを深める！



授業のねらいの達成には、児童生徒が問題意識をもち、主体的に考え、話し合うことが大切になります。そのためにも、教師自らが児童生徒の発達段階に応じた指導方法をしっかりと吟味することが大切となります。

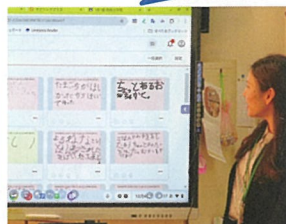


アンケートの実施

- ・ICTの活用で問題意識をもたせる

全体共有

- ・全体を可視化
- ・多様な考えを共有



学習支援ソフトの活用

- ・他者の意見から考えを深める
- ・自分の考えを明確にする



発問の工夫

- ・問い返し、切り返しで考えを深める



意見が違う人や同じ人と



ペアで対話しながら



グループで議論しながら

〇話し合いの工夫

- ・何のために話し合うのか明確にする
- ・意図をもって話し合いの形態を決める
- ・疑問や意見を話し合える習慣づくり



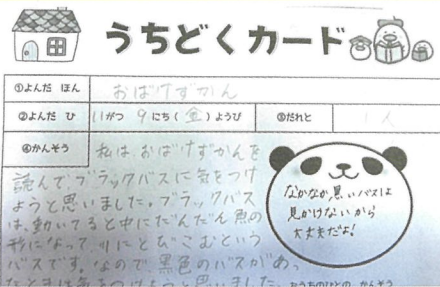
学校、児童生徒の実態を踏まえて、自校でどんな工夫ができるか考える

つばさ50号「道徳科に生かす指導方法の工夫」

「家庭や地域」で道徳教育を深める！



地域と連携した体験活動



保護者も関わる取組



地域も子供も楽しめる行事



学校運営協議会との連携



Community School
コミュニティ・スクール

学校運営協議会設置に向けて

山梨県教育委員会HPより

学校運営協議会についてはこちら

具体的な実践例は次のページから⇒

対話を通して、自己の考えを深める



3・4 年【道徳 心のものさし】



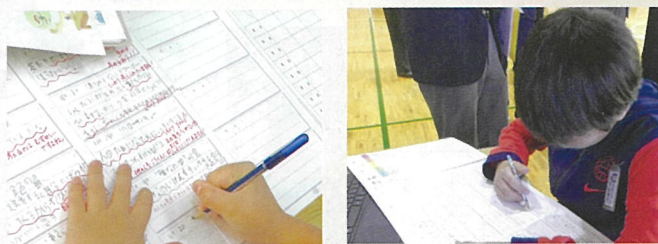
レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
今日の話の内容や問題は、自分とはあまり関係ないと思う。	今日の学習内容と同じようなことが、自分にもあったことを思い出すことができた。	今までの自分の考えや感じ方と比べてながら、かんがえることができた。	学習を通して自分の考えがはっきりしたり、変わったりしたことがあった。	自分のよさに気づき、これからの目標やなりたいたいの姿を思い浮かべることができた。

心のものさし（ルーブリック）

教師と児童が目指すべき姿を共通理解する

一枚ポートフォリオ

自分の考えをまとめ、納得解をもつ



学校・保護者・地域との連携を深める



縦割り活動



動物ふれあい活動



道徳の授業参観の実施



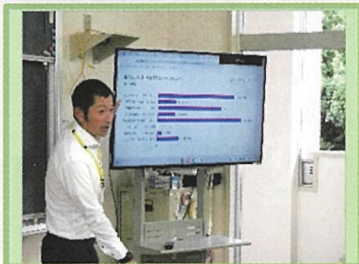
育てた菊を地域に届ける活動

「考え、議論する道德」の授業づくり

～自分事として捉える工夫と、考えを深める工夫を通して～

授業の工夫で学びを深める

自分事として捉える工夫



考えを深める工夫



【題材選定】

- ・生徒の実体験や生活とつながりがあるものを選定する。
- ・いろいろな考えや思いが出しやすいものを選定する。

【アンケート】

- ・事前アンケートで生徒の実態や意識を把握する。
- ・授業後に変化を比較する。

【学びの記録】

- ・自分の学びの足跡を残し、変容を捉える。
- ・これまでの学習状況を把握し、成長を評価する。

【小グループ編成】

- ・3～4人の小グループとすることで発言機会を増やす。
- ・個→小グループ→全体の流れで、他者の意見を聞く機会を設ける。

【ICT活用】

- ・学習支援ソフトを使い、短時間で多数の他者の意見に接する機会を増やす。

【机間指導】

- ・授業者が机間指導を行い、考えを深める助言をしたり、各グループの意見を把握したりすることで、全体交流の場面につなげる。

【意見交流】

- ・仲間や大人の意見を聞き、考えを広げる。

地域・保護者との連携で道德教育を深める



- ・本校は、「あいさつ」に力を入れており、年3回地域・保護者の方々と連携してあいさつ運動を展開している。
- ・道德教育に対する保護者の理解を高めることをねらいとし、全校一斉で道德授業参観日を設けている。

令和6年度より、校区にある山梨県立大学や甲府西高等学校との連携を開始した。

これまでに、両校の学生や生徒による本校生徒への学習指導や部活動指導が行われた。

中学生と年齢が近い高校生や大学生と活動を通して触れ合うことで、「自己の在り方を自分自身との関わりで捉え、望ましい自己の形成を図ること」に資すると考えている。

教育活動全体で、対話を通して考えを深める



フリートーク

道徳授業の土台となる、何でも話せる学級づくり

ICTの活用(考えの交流)

Canvaを活用して、友達との意見交流や全体共有

「心の広場」で考えの交流

学校全体の交流

- ・今日のハッピーな出来事は？
- ・もっと楽しい富小にするには？

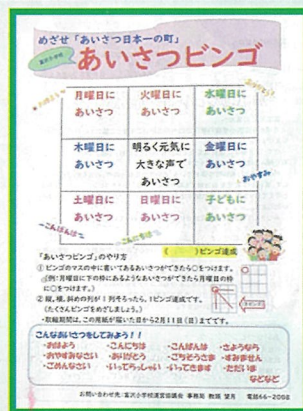
話し合い活動

ペア・グループ・全体など目的に合わせて形態を工夫

ICTの活用(振り返り)

スプレッドシートを活用して振り返りの交流と学びの蓄積

道徳的実践活動で、家庭・地域との連携を深める



三世代交流会

父母・祖父母と昔の遊びやものづくりで交流授業

読書ボランティア

朝読書の時間、地域の方による読み聞かせ



PTA学習会

地域のIT企業と連携した親子スマホ教室

N授業 (N=南部)

南部町内3小学校合同で行う道徳授業

あいさつビンゴ

学校運営協議会と児童会が連携して、地域全体で行うあいさつビンゴ